

特定非営利活動法人 会員誌

ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail fureainpo@gmail.com
⇒ホームページ <http://www.fureai-support.jp/>

新春

- 法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8
- デイサービス友遊(北 町)
- デイサービス友遊(南飯淵)
- 中央児童センター(ポニークラブ)
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわりクラブ)
- 日立木小放課後児童クラブ(めだかクラブ)
- 磯部小放課後児童クラブ(げんきクラブ)
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはなクラブ)
- 相馬こどものみんなの家

TEL 0244 (36) 5420
FAX 0244 (32) 0965
TEL 0244 (26) 5424
TEL 0244 (36) 3582
TEL 0244 (35) 2008
TEL 0244 (37) 8870
TEL 0244 (35) 3400
TEL 0244 (32) 1787
TEL 0244 (26) 9011
TEL 0244 (35) 4700

—新春合同メッセージ—



2024年・令和6年・甲辰年
今年もどうぞよろしくお祈りします。



法人事務所・アトリエ玄関アプローチ



みんないい笑顔で・・・

げんきでいこうみんなともだち！！



イラスト：かいがそうけいぎょうしつの皆さん、書は友美子先生

2024年・令和6年 新年に寄せて

世界中に猛威をふるった新型コロナウイルスも、感染症法で5類に引下げられ、少しずつ日常生活が戻りつつありますが、インフルエンザの流行で油断は許されません。また長引くロシアによるウクライナ侵襲、イスラエルとパレスチナの戦闘で戦争の脅威も収まりません。イスラエルの地を旅した40年前を思いおこし、心痛みます。穏やかな一年になりますよう・・・願います。

昨年9月には念願叶って、京都の法然院で倉本信之画業60年を記念して新作を含め回顧展を開催。併せてチベット巡礼作品集も出版できました。今年は甲辰(きのえたつ)年。私も年男です。今までの生活のスタイルをもう一度見直し、豊かな時間の有り様を見つけ、新しい日常の生活を創造して更に飛躍できる年になればと願います。

平成24年に南飯淵にデイサービス友遊を開所してから、今年で12年になります。翌年は北町にデイサービス友遊Ⅱ、訪問介護事業所友遊、介護タクシー友遊・居宅介護支援事業所友遊も加わり現在に至り多くの皆さまにご利用いただいております。利用者様はじめ家族の方の想いや願いを大切に、より安心して生活できるリンクされたオアシスづくりを目指し日々奮闘しております。

中央児童センターの管理運営を、平成18年より相馬市から委託され活動の輪が広がりました。子ども達の豊かな心の育ちのために相馬絵画研究所で長年培ってきた活動に加え、更なる活動の場を提供して17年になります。桜丘小の放課後児童クラブに加え、平成23年からは飯豊小・日立木小・磯部小・八幡小のクラブの皆さんが仲間入り。各クラブとの交流・合同での活動を通して、他地域の人の出会いの中で、気配りや思いやりの心が育まれ夫々が成長していき、頼もしい姿が見られます。相馬こどものみんなの家では、安心して子育てを楽しめる場を提供しております。

かいがそうけいぎょうしつは、昭和41年に創立して、今年度で58周年。NPO法人ふれあいサポート館アトリエとして認証されて20年。アトリエは百年から三百年物の木のぬくもりのある魅力的な建物・雰囲気のある空間です。その中で3歳児から一般の方までが一緒にアートを通して学び、絵を描くだけでなく遊びながら成長し合う姿が見られます。相馬絵画研究所30周年を記念し、平成8年に友遊寮を開業して28年。昨年の12月までの築焚きで293回焼きあげました。3歳から90代のおじいちゃんおばあちゃん、大勢の皆さんに、炎の芸術を楽しんでいただきました。

私達の地域一体の活動が、豊かさを循環させ、皆様方のQOL(クオリティオブライフ)の向上に僅かでもお役に立てますよう・・・2024年も新しいアクションを起こし、これからも、みんなが夢と希望に満ちた未来を制作できるアトリエでありたいと願います。

スタッフ一同 イキイキ キラキラ みんな いい笑顔・・・で皆様と共にこれからも歩んでいきたいと思っております。
今年も、ごきげんようをお願い申し上げます。

特定非営利活動法人(NPO法人)
ふれあいサポート館アトリエ
理事長 倉本 信之



ふれあいサポート館アトリエ 新春メッセージ

こ し も げ ん き で い こ う み ん な と も だ ち



グループLINEの写真から見えるもの

毎週「かがぞうけいきょうしつグループLINE」に、活動風景を「アルバム」にしてアップしています。(時々凧さんも撮ってくれています)登録者数は45人になっていますが、見てくださっているのはほとんどが保護者の方だと思います。

指導しながらスマホで写真を撮るのは中々大変ですが、「アルバム」の編集作業は結構楽しいです。活動中は気づかなかった子ども達の表情や1枚の写真から聞こえてくるつぶやき、子どもたち同士のふれあい、そして、子ども達の一生懸命に想いを込めて制作した作品。私だけでなく保護者の方達にも見て欲しい、知って欲しいとついつい思って“送信ボタン”を押しています。

そんな中、なんと昨年9月に、「アルバム」が100個を超えました。超えてしまったことで、容量を確保するために古い「アルバム」から消していったら、最新の写真を「アルバム」にしてアップしています。「写真が必要な方は消される前にダウンロードしてください」と、その時、お願いしたのもそのためです。

「アルバム」を消す作業をしていると毎回思うことがあります。『一年ってあつという間だな』そして、『子どもの成長ってすごいなあ』です。毎週2時間くらいでも、仲間と続けていく事で子どもの生きる土台になっていくのですから続ける事って大事ですね。

2024年!今年も「かがぞうけいきょうしつ」での子ども達のイキイキ、キラキラした様子をお伝えしていきたいです。(かがぞうけいきょうしつ 遠藤 裕子)

成長するということへの感謝

クラブで生活をしていると、辞めていった子や卒業して中学生や高校生になった子たちが遊びに来ることがある。その度に一緒に生活していた頃を思い出したり、今の子どもたちの現状を聞いたり懐かしい気持ちと嬉しい気持ち、少し切ないような気持ちなどたくさんの感情をいっぱいもらう。

今年は私自身の娘も1年生となり、親の隣を離れて学校という社会に飛び込んでいく。早起きもしなくてはならない、一人で重いランドセルを背負って登校しなくてはならない、宿題も毎日やらなくてはならない...などやらないといけないことが急に増えた。センターにも登録するようになり「ただいま〜!」と帰ってくる娘、「疲れた〜眠い〜」と家に帰ってくる娘を見て、“今日も頑張ってきたんだな”と誇らしく、嬉しく、それが当たり前になってしまった切なさ、淋しさなど娘からもいっぱいたくさんの感情をもらう。クラブでしか味わえない感情や、子育てしてみないと知らなかった感情に出会え、成長することは親としてはもちろん、学校や地域の方々、そしてセンターや各クラブの先生方の言葉かけや愛情の上で成り立っているのを日々確認する。

皆さん毎日娘と一緒に育ててくれてありがとうございます♡

(中央児童センターポニークラブ 三村未来)

カレンダーを作ろう!!

今年は「たつ年」。

まずは、「たつ」「辰」「竜」の中から

自分が書いてみたい字を選び、習字で挑戦!

背筋を伸ばして、姿勢を整え筆を持ち、

息を大きく吸って、心が落ち着いたら書き始めます。

ゆったりとした気持ちで、のびのびと元氣よく楽しんで書きましょう。

次にたつの顔を描きます!

だれも本物を見たことがない想像上の生き物。

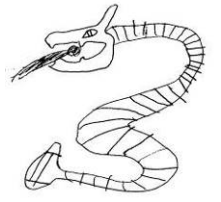
眉・目・鼻をそれぞれ自由に思い描いて、たつの絵を仕上げましょう。

一人一人個性豊かで、とってもすてきな2024年のカレンダーが完成しました。

天高く昇る「たつ」は、縁起の良い生き物といわれているようです。

皆さんにとって、良い1年になりますように、ぜひお部屋に飾ってみてくださいね。

(かがぞうけいきょうしつ 水野友美子)



子育てと仕事の両立

子育てが始まって8年が経ちます。

食欲旺盛でちょっぴりヤンチャな小学1年の男の子。プリンセスが大好きで最近おませさんな4歳の女の子。2人の子どもの子育てに毎日がバトルです。勉強が苦手な息子は毎日の宿題に悪戦苦闘。Youtubeやゲーム等は真剣に取りかかるのになあ。どうしたらやる気を出してくれるのかな。私の最近の悩みです。ランドセルにティッシュが筆箱には消しゴムが何個もあって、「誰かが忘れたときに貸せるから」と優しい一面を発見して嬉しい気持ちになりました。

いたずら好きでお兄ちゃんのやることは私もやりたい娘。最近は何んなことに興味を持ち歌ったり踊ったり、おままごとやプリンセスで時には女の子らしさが出てきて、来年春からは幼稚園に入園。母は少しドキドキ。娘はワクワク。好奇心旺盛な子なので何事も楽しく過ごしてもらいたいです。

母である私もテイスサー友遊に勤めて6年。2人を育てながらの仕事の両立は苦戦中です。また、生活相談員のお仕事に関わって約半年。ご利用者様との関わりにご家族の方や外部の方との関わりも増えてコミュニケーションの大切さを感じました。関わりの中で自分はどんな人間であるのかを改めて考えさせられました。

子ども達の個性、私の個性を大事に活かして子育て、仕事に挑みたいです。

(テイスサー友遊 反畑憂季奈)

相馬市青少年健全育成市民会議・団体活動奨励事業2泊3日リーダー育成サマー合宿を終えて

〈主催〉元 気 ク ラ ブ 〈後援〉相馬市教育委員会・NPO法人ふれあいサポート館アトリエ

アトリエで学んだ高校生がたちあげた元気クラブの初合宿のしおりが完成しました。各教室においてありますので、合宿の成果と参加した皆さんの成長をぜひご覧下さい。

高校生の立ち上げの想いと行動

「自分が合宿で心細くて不安だった体験、相手を思いやることもできなかった苦い経験を通し自分の成長を感じることが出来たので、後輩達にも、同じような成長を実感できるような体験をしてもらいたい。」と、アトリエと一緒に学んだ同じ想いの卒業生達に声をかけ、今度は自分達が主体になって、元気クラブ主催2泊3日サマー合宿を企画するに至りました。

普段家では誰かがやってくれていることを自分でしなければならぬ。他者との関係や考え方の違いを認識し、様々な場面での責任感や思いやりの気持ちを育むリーダーの役割を考え、班をまとめるのに自分自身を見つめ直した3日間でもありました。与えられる生活に慣れ、指示しなければ動けなかったり、自分の意思・意欲に乏しかった子も、日に日に自ら行動する強い心と意欲、コミュニケーション力もついてきて、逞しいリーダーの姿でした。

更に、合宿前後の準備、片付け、まとめのしおり作り、報告書作成などの仕事は、部活動試験勉強等もあり、時間調整が大変だったようです。しおり作りに手間取り報告書提出が遅くなり、教育委員会の事務の方から最速の一報が入りその後、緊張感をもってしおり作りに精を出している姿を垣間見ました。厳しい社会を感じたかな…?

しおり作りの手慣れたスタッフがアドバイスはしましたが、自分たちの手で完成させてほしかったので、見ている私達スタッフもヤキモキ…こちらも忍従の時間でしたよ。

合宿の見守りを終えて…

初めての企画運営を、成功に繋げるための見守り役で、今回参加しました。つかず離れずの関係を保ちながら子ども達の行動を観察。「転ばぬ先の杖をださないように…」「老婆心を極力抑えるように…」と、今までの合宿と立場が違うので、プレッシャーがかかった見守り役でした。

今回は募集期間が短かく周知するのが遅かったこともあり予定の参加人数が集まらず反省点もありましたが、初企画だったので、むしろベストな人数だったとも思います。

「可愛い子には旅をさせよ」という諺がありますが、短い時間だったけど親元を離れ大変だったこと、気が付いたことが多々あった合宿でした。小さな一つでもどうしようかと自分で考え行動に移すことで自信に繋がったと思います。その後の成長には家族のフォローで更に成長していきます。

多様な体験活動を行う中で、リーダー育成、世代間交流、いろいろな経験ができ、学ぶことが多くあった合宿でした。これからも子ども達の想いを大切に拾い上げ、豊かな心や人間性・社会性を培うため保護者の皆様と共に見守り続けたいと思います。(まり子)

教育長さんに報告に行つて…

サマー合宿のまとめとして、12月21日教育長さんに報告にリーダー4人で行ってきました。はじめての教育長室で、皆緊張してドキドキでした。しかし、福地教育長さんは、私たちの緊張をすぐに解きほぐして下さい、場が和みました。

清人リーダーから始まり凧リーダー、梨沙リーダー、いろはリーダーがサマー合宿の説明、報告をしました。

有難いお褒めのお言葉や、今後の合宿の進め方や、これからの人生のアドバイスまでいただき貴重な時間になりました。(いろはリーダー)



福地教育長さんと